



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月5日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL https://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員(氏名) 吉澤 正信
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 直樹 (TEL) 045(470)-8631
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	148,695	△8.8	3,947	△59.5	3,760	△62.5	1,309	△78.3
2019年3月期第2四半期	162,988	△0.1	9,743	△27.9	10,034	△28.8	6,023	△25.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,224百万円(△65.9%) 2019年3月期第2四半期 3,584百万円(△69.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	28.16	28.16
2019年3月期第2四半期	125.81	125.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	267,669	156,942	53.6
2019年3月期	251,185	161,511	59.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 143,362百万円 2019年3月期 150,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2020年3月期	—	27.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	△8.5	10,000	△50.3	10,000	△52.4	5,500	△57.3	120.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1 社(社名) ユニプレス武漢会社、除外 1 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	47,991,873株	2019年3月期	47,944,973株
2020年3月期2Q	3,020,053株	2019年3月期	33,080株
2020年3月期2Q	46,503,998株	2019年3月期2Q	47,875,176株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、得意先の減産及び為替影響等により1,486億円（前年同期比142億円減、8.8%減）となり、営業利益は39億円（同57億円減、59.5%減）、経常利益は為替差損の増加等により37億円（同62億円減、62.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第1四半期連結会計期間で発生した段階取得に係る差益があったものの、移転価格税制に関するメキシコ子会社での税金費用の減額に伴う非支配株主に帰属する四半期純利益の増加等により、13億円（同47億円減、78.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の減産影響等により売上高は439億円（前年同期比50億円減、10.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1億円（同42億円減、96.7%減）となりました。

② 米州

得意先の減産影響及び為替影響等により売上高は467億円（同19億円減、3.9%減）となり、セグメント利益は9億円（同1億円減、13.2%減）となりました。

③ 欧州

得意先の減産影響及び為替影響等により売上高は166億円（同40億円減、19.5%減）となり、セグメント損失は6億円（前年同期は7億円の利益）となりました。

④ アジア

為替影響等により売上高は413億円（前年同期比32億円減、7.3%減）となり、セグメント利益は36億円（同4億円減、10.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が131億円減少したものの、たな卸資産が63億円、未収法人税等を含むその他流動資産が64億円、有形固定資産が134億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ164億円増の2,676億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が159億円、未払法人税等が54億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ210億円増の1,107億円となりました。

純資産につきましては、非支配株主持分が25億円増加した一方、為替換算調整勘定が22億円減少したこと、また自己株式を50億円取得したこと等により、前連結会計年度末に比べ45億円減の1,569億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ6.3ポイントマイナスの53.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が減少したことに加え、売上債権や棚卸資産の増加、未払金の減少、法人税等の支払い等により11億円の支出（前年同期は67億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、日本、米州を中心とした設備投資額の増加により192億円の支出（前年同期比75億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、本年5月に決定した取締役会決議に基づく自己株式取得や配当金の支払い等による支出があったものの、長短借入金による資金調達の結果、76億円の収入（前年同期は28億円の支出）となりました。

これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ127億円減の157億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました予想を修正しております。
詳細につきましては、本日公表しております「2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,605	18,428
受取手形及び売掛金	46,092	46,902
たな卸資産	26,976	33,319
その他	8,373	14,855
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	113,047	113,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,668	30,066
機械装置及び運搬具（純額）	53,694	58,097
土地	7,211	7,343
建設仮勘定	20,021	23,342
その他（純額）	12,245	16,487
有形固定資産合計	121,842	135,336
無形固定資産		
投資その他の資産	2,821	4,457
投資有価証券	6,880	5,657
その他	6,603	8,719
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	13,473	14,368
固定資産合計	138,137	154,163
資産合計	251,185	267,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,673	33,473
電子記録債務	3,803	5,050
短期借入金	12,339	27,618
未払法人税等	1,793	7,216
賞与引当金	3,226	2,740
その他の引当金	95	54
その他	21,790	19,243
流動負債合計	74,723	95,398
固定負債		
長期借入金	810	1,437
その他の引当金	223	152
退職給付に係る負債	7,406	7,066
その他	6,509	6,671
固定負債合計	14,950	15,328
負債合計	89,673	110,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,136	10,168
資本剰余金	13,465	13,498
利益剰余金	141,654	141,582
自己株式	△22	△5,022
株主資本合計	165,234	160,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△346	△587
為替換算調整勘定	△8,323	△10,566
退職給付に係る調整累計額	△6,084	△5,710
その他の包括利益累計額合計	△14,754	△16,864
新株予約権	25	—
非支配株主持分	11,006	13,580
純資産合計	161,511	156,942
負債純資産合計	251,185	267,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	162,988	148,695
売上原価	140,436	131,593
売上総利益	22,552	17,102
販売費及び一般管理費	12,808	13,154
営業利益	9,743	3,947
営業外収益		
受取利息	496	496
受取配当金	36	57
受取賃貸料	170	182
その他	246	167
営業外収益合計	949	903
営業外費用		
支払利息	260	285
貸与資産減価償却費	103	140
為替差損	97	474
持分法による投資損失	127	93
その他	69	96
営業外費用合計	658	1,090
経常利益	10,034	3,760
特別利益		
固定資産売却益	29	18
新株予約権戻入益	1	8
段階取得に係る差益	—	1,210
特別利益合計	31	1,237
特別損失		
固定資産処分損	91	129
特別損失合計	91	129
税金等調整前四半期純利益	9,974	4,869
法人税等	3,467	△1,688
過年度法人税等	—	3,151
四半期純利益	6,506	3,406
非支配株主に帰属する四半期純利益	483	2,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,023	1,309

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	6,506	3,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△236
為替換算調整勘定	△3,183	△2,293
退職給付に係る調整額	563	374
持分法適用会社に対する持分相当額	△334	△26
その他の包括利益合計	△2,921	△2,182
四半期包括利益	3,584	1,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,364	△800
非支配株主に係る四半期包括利益	220	2,024

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,974	4,869
減価償却費	9,051	9,443
賞与引当金の増減額(△は減少)	△338	△471
受取利息及び受取配当金	△532	△554
支払利息	260	285
持分法による投資損益(△は益)	127	93
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△1,210
固定資産処分損益(△は益)	62	110
売上債権の増減額(△は増加)	△321	△1,184
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,173	△6,035
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,789	766
未払金の増減額(△は減少)	△1,367	△2,488
その他	1,458	△2,160
小計	9,410	1,463
利息及び配当金の受取額	559	566
利息の支払額	△260	△285
法人税等の支払額	△2,932	△2,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,777	△1,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△2,648	373
有形固定資産の取得による支出	△8,207	△18,727
有形固定資産の売却による収入	678	70
無形固定資産の取得による支出	△451	△217
関係会社株式の取得による支出	△1,263	△452
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△289
その他	237	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,655	△19,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△216	15,539
長期借入金の返済による支出	△205	△274
リース債務の返済による支出	△590	△662
株式の発行による収入	54	48
自己株式の取得による支出	—	△5,000
配当金の支払額	△1,555	△1,318
非支配株主への配当金の支払額	△343	△667
その他	△31	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,889	7,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△766	△59
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,534	△12,726
現金及び現金同等物の期首残高	31,399	28,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,864	15,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において当社の持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結会計期間において新たに設立したユニプレス武漢会社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,986,900株(取得価額4,999百万円)を取得いたしました。この取得等により、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は5,022百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準 ASU 第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、米国会計基準 ASU 第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。当該会計基準の適用が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

この結果、従来の会計基準を適用した場合と比較して、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、「受取手形及び売掛金」が540百万円増加し、「流動負債」の「その他」に含まれております「返金負債」が540百万円増加しております。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。IFRS第16号の適用につきましては経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,036百万円増加し、流動負債の「その他」が288百万円及び固定負債の「その他」が819百万円増加しております。

当該会計基準の適用が当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、利益剰余金の当期首残高は64百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,056	48,642	20,655	44,633	162,988	—	162,988
セグメント間の内部売上 高又は振替高	13,069	46	0	1,188	14,304	△14,304	—
計	62,126	48,688	20,656	45,822	177,292	△14,304	162,988
セグメント利益又は損失 (△)	4,440	1,083	735	4,042	10,302	△558	9,743

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,966	46,721	16,622	41,385	148,695	—	148,695
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,651	199	30	1,007	10,888	△10,888	—
計	53,617	46,921	16,652	42,392	159,584	△10,888	148,695
セグメント利益又は損失 (△)	145	940	△665	3,600	4,020	△72	3,947

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「欧州」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったユーエムコーポレーションの株式を追加取得して連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,707百万円であります。

(重要な後発事象)

(第三者割当増資引受による関連会社化)

当社は、2019年9月9日開催の取締役会において、株式会社メタルテック(以下、「メタルテック」)が実施する第三者割当増資を引き受けることにより同社と資本提携することを決議し、2019年10月1日付で同社の株式を取得し、関連会社化いたしました。

1. 資本提携の理由

当社は、自動車用プレス部品を日本、米州、欧州、アジアの各拠点から自動車メーカーへグローバルに供給しております。また、メタルテックは、自動車用プレス部品等を日本およびタイで自動車メーカーに供給しております。

当社とメタルテックとは、日本およびアジアを中心とした自動車メーカーへの拡販を強化すべく、2017年より協業を開始し、両社の拠点網の相互活用により拡販に取り組んでおります。今般、自動車業界を取り巻く競争環境がますます激化する中、各々の強みを活かしてシナジー効果を一層高めることを狙いに、資本提携を行うことといたしました。

2. 資本提携の内容

両社間の密接な協力関係を構築するため、当社はメタルテックが実施する第三者割当増資により発行される普通株式1,000株全てを引き受けることにより、当社がメタルテックの発行済み株式総数の33.3%を所有し、メタルテックは当社の持分法適用関連会社となりました。

- (1) 発行株式数 普通株式 1,000株
- (2) 発行価額 1株につき1,350,000円
- (3) 当社の取得株式数 1,000株 (議決権所有割合:33.3%)
- (4) 当社の取得価額の総額 1,350百万円

3. 資本提携の相手先の概要 (2019年3月31日現在)

(1) 名称	株式会社メタルテック			
(2) 所在地	愛知県小牧市大字村中宇唐曾1418番地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 矢島 隆一			
(4) 事業内容	金属製造業(主に自動車部品)			
(5) 資本金	1億円			
(6) 設立年月日	2004年10月1日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ヤジマ 100%(2,000株)			
(8) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状況				
	決算期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売上高		18,721百万円	20,531百万円	22,812百万円
営業利益		275百万円	424百万円	241百万円